



MPD でドラム演奏を行うための簡単なセットアップ手順です。MPD をコンピュータに USB 接続し、付属の音楽ソフト「Ableton Live 9 Lite」を使ってさっそく演奏してみましょう！

セットアップの流れ

1. 動作環境の確認
2. Ableton Live 9 Lite のダウンロード、インストール及び認証
3. MPD と Ableton Live 9 Lite の設定

1. コンピュータが動作環境を満たしているか確認する

Mac 1.25GHz G4/G5 以上 (Intel Mac 推奨)、1GB RAM (2GB 以上推奨)、Mac OS X 10.4.11 (10.5 以上推奨)、USB 端子

Windows 1.5GHz Pentium 4 及び Celeron 互換以上 (マルチコア CPU 推奨)、1GB RAM (2GB 以上推奨)、Windows XP 以上、Windows 互換サウンドカード (ASIO 対応推奨)、QuickTime、USB 端子

- * システム要件は、MPD 本体のもので、付属ソフトウェアに対するものではありません。
- * 仕様は断りなく変更される場合がございます。

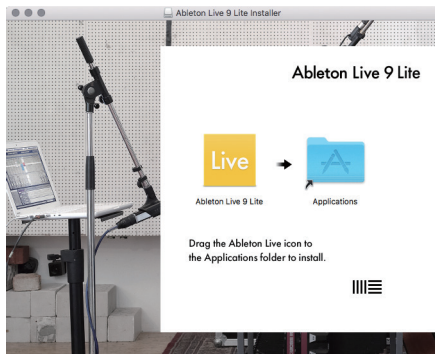
2. Ableton Live 9 Lite のダウンロード・インストール・認証

ダウンロードとインストール Mac

1. <https://www.ableton.com/ja/products/live-lite/> にアクセスします。
プルダウンメニューの Mac OS X64ビットまたは、32ビットをお使いの Mac に合わせて選択後、ダウンロードをクリックします。



2. ダウンロードされた「ableton_live_lite_9.7.6_64」(64ビット)または、「ableton_live_lite_9.7.6_32」(32ビット)を開きます。
そのまま「Agree」をクリックすると、インストーラが立ち上がります。



3. インストーラに表示された Ableton Live 9 Lite のアイコンを Application アイコンにドラッグ&ドロップします。

問題なくインストールが完了すれば、Ableton Live 9 Lite のダウンロード・インストールは完了です。

ダウンロードとインストール Windows

1. <https://www.ableton.com/ja/products/live-lite/> にアクセスします。
プルダウンメニューの Windows 64ビットまたは、32ビットをお使いの Windows に合わせて選択後、ダウンロードをクリックします。

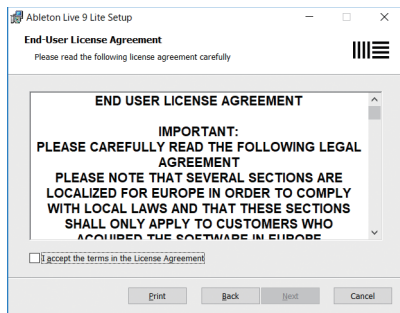


2. ダウンロードされた「ableton_live_lite_9.7.6_64.zip」(64ビット)または、「ableton_live_lite_9.7.6_32.zip」(32ビット)を展開します。

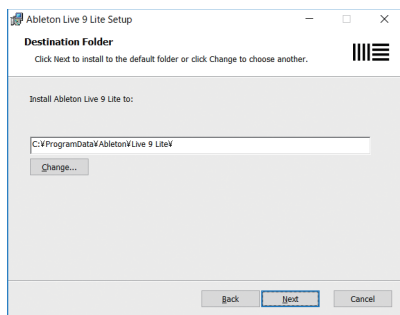
注) 展開には別途、解凍ソフトが必要になる場合があります。

3. 展開した「ableton_live_lite_9.7.6_64」(64ビット)または「ableton_live_lite_9.7.6_32」(32ビット)のフォルダー内にある「Setup.msi」をクリックし、セットアップウィザードが開きます。

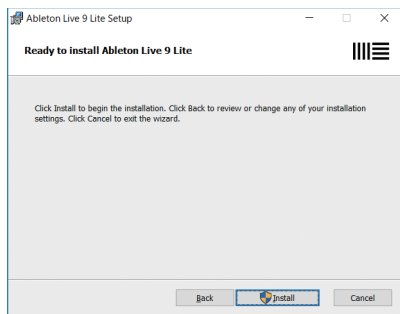
以下の画像の状態になりますので、チェックボックスにチェックを入れて、「Next」をクリックします。



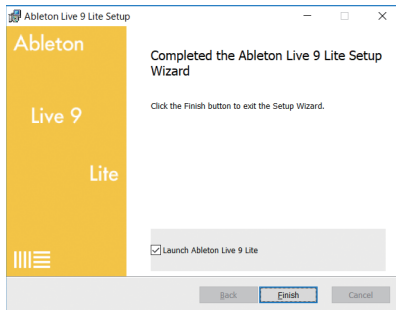
4. 任意のインストール先を指定し、「Next」をクリックします。



5. 「Install」をクリックすると、インストールが開始します。



6. インストールが完了し、以下の画像の状態になったら「Finish」をクリックします。



Ableton Live 9 Lite のダウンロード・インストールは完了です。
次に Ableton Live 9 Lite のライセンスの認証へ進みます。

認証 (Mac、Windows 共通)

Ableton Live 9 Lite を使用できるように“認証”を行います。

1. Ableton Live 9 Lite を起動します。
2. ライセンス登録のポップアップが開くので、「ableton.com でオンライン」をクリックします。Ableton のサイトが表示されます。



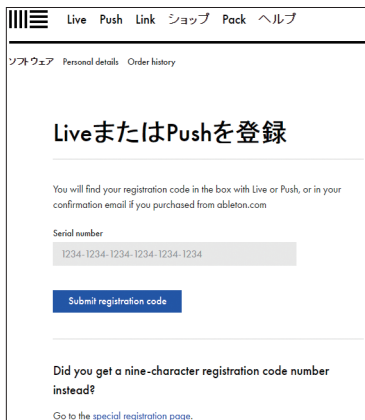
3. Ableton のアカウントを作成します。

<https://www.ableton.com/ja/login/> にアクセスし、各項目を入力してください。
入力後、「ユーザーアカウントを作成」をクリックします。

4. アカウントの作成後、自分のユーザーページが開きます。
「Licenses」の項目の「Live または Push を登録」をクリックします。



5. Serial number の欄にシリアルナンバーを入力します。
シリアルナンバーは、同梱の「Ableton Live 9 Lite」の登録用紙に記載されています。



注) この用紙を紛失すると、再発行はできません。

6. シリアルナンバーの登録が完了すると、以下の画像のように表示されます。

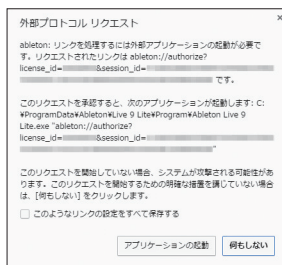


注) このページは認証が完了するまで閉じないでください。

7. Ableton Live 9 Lite を再起動し、「メニュー」→「ヘルプ」→「ユーザーアカウントとライセンス」をクリックします。
8. 「ableton.com でオーソライズ」をクリックします。

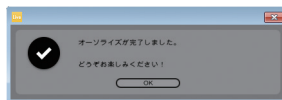


9. 以下の画像のようなメッセージが出たら、「アプリケーションの起動」をクリックします。



画像は Google Chrome です。

10. 「オーソライズが完了しました。」というメッセージが表示されれば、Ableton Live 9 Lite の認証は完了です。



3. MPD と Ableton Live 9 Lite の設定

ここでは Ableton Live 9 Lite の標準ドラム音源 “Drum Rack” で MPD を使う方法を説明します。

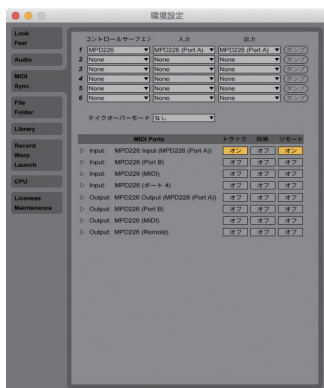
1. Ableton Live 9 Lite を立ち上げます。



2. MPD を接続します。

3. 画面左上の「Live」にカーソルを合わせ、「環境設定」をクリックします。

4. 「MIDI Sync」を選択し、以下の画像のように設定します。

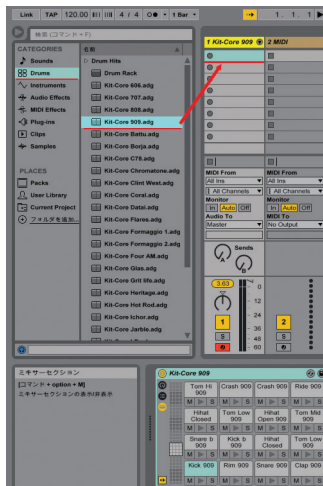


画像は MPD226 を使用していますが、MPD218、MPD232 も同様の設定が行えます。

これで本体と Ableton Live との接続設定は完了です。

5. 以下の画像の欄から、使用する音源を選択できます。

例えば、「Drums」の中にある「Kit-Core 909.adg」を演奏する場合は「Kit-Core 90.adg」を以下のようにドラッグ & ドロップします。



6. これで MPD でパッドによる演奏が行えます。

演奏して反応するパッドの位置が異なる場合は？

もし DrumRack の反応するパッドと MPD のパッドの位置が異なる場合は、MPD 本体の PRESET が正しく選択されていない事が考えられます。

その場合、以下の操作で Live Lite 用 PRESET の選択をお試しください。

MPD218

PROGRAM SELECT ボタンを押しながら、PAD 1 を叩いて決定します。

MPD226、MPD232

ダイヤルを操作して、ディスプレイに “PRESET 1 Live Lite” を選択して、最後にダイヤルを押し込んで決定します。

その他、付属ソフトウェアについては、各製品ウェブページのサポート情報をご覧ください。

AKAI Professional サポートページ

<http://akai-pro.jp/>